



週報 第3005回

会長 藤野 修次 副会長 藤原 重行
幹事 寺田 敏也 SAA 泉谷 仁博

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス izumiotsu-rc@ioctv.zaq.ne.jp
ホームページ http://izumiotsu-rc.org

世界遺産白神山地の秋 十二湖海浜公園から望む日本海の夕日



今週の例会 (2018年10月19日)

■ プログラム

クラブフォーラム
根尾 玲子 米山記念奨学委員長

■ 次週のプログラム

- ・10月26日:地区大会に振替休会
- ・10月27(土)~28日(日):地区大会

■ 今後の予定

11月2日:クラブフォーラム
(ロータリー財団)

■ 祝 誕生日

林 巖 (22日)
川上 正人 (27日)
川端 徹 (30日)

■ 今月のロータリーソング

手に手つないで

今月の歌

ふるさと

うさぎ追いし	かの山
小ぶな釣りし	かの川
夢は今も	めぐりて
忘れがたき	ふるさと

■ 先週の例会

会長の時間

藤野 修次 会長

9月4日の台風21号をきっかけに北海道地震又、台風24号の接近と、それに海外ではインドネシアの巨大地震等と色々あり多難な1ヶ月でした。私は、日頃ない異常な災害に苦しんでいるように感じています。



話は変わりますが、今日は「日本史伝説(レジェンド)になった100人」と云う本の一説を紹介させていただきます。その中に「金の流れ」を生み出す、その驚くべき才能の持ち主:を紹介させていただきます。その人の名前は、織田信長公です。織田信長は、少年時代から破天荒でそのファッションは尋常ではなかったと云います。着物は片袖を脱ぎ、帯の代わりに縄を巻き、腰には火打石やひょうたん等の道具をぶら下げていた。又、髪の手入れが面倒なので、束ねて猫じゃらしの様にしていたと云います。他人は彼の事を「大うつけもの」大馬鹿者と呼んでいたそうです。信長といえば、桶狭間の戦いで奇襲戦や鉄砲隊の導入などの戦術的な才能が記憶に残っているようですが、実は優れた経済感覚の持主でもあったので、お金の力で天下統一の目前まで進んだ人物なのであります。信長の蓄財力の秘訣はどうして金儲けをしたのか?その方法として、米がたくさん取れる土地を攻撃し城や土地を自分の支配下に置き蓄財する、又、石山本願寺や比叡山延暦寺といった当時の大きな寺には、「僧兵」という「お坊さんの武士が多数所属するなど、戦国大名の同じような存在だったそうです。有力社寺には「荘園」という私有地を持っていて、私有地から年貢を取り立てていたので、かなりの財力や権力を持っていたそうです。その為、信長にとっては、自身の天下統一の邪魔になっていたので、

IZUMIOTSU ROTARY CLUB

第3005回

当時の寺社と信長は激しく対立していました。そこで、信長は運送と交通機関に目をつけ、当時、比叡山延暦寺は『馬借』という運送業者を支配し、各地に関所を設けて、運送業者から通行税をとっていたのです。そこで、比叡山を焼き討ちし運送業者を自由の身にする事で、経済の自由化を促進したそうです。又、有力な寺には「座」という同業者組合を囲い込んでいたため、そこから莫大な収入があり、「座」は寺社や公家に税金の様なものを支払う代わりに保護を受け、商品の製造、販売上の独占権を持っていました。信長が「楽市楽座」の命令を出したことにより、商人は寺社や公家にお金を支払う必要がなくなったので、誰でも商売ができるようになり、市場の拡大化に成功しました。そこに目を付けて、信長は商人に売上税を課し蓄財力を増して、天下統一の夢に大きく近づいたそうです。

幹事報告 寺田 敏也 幹事

- 地区大会記念ゴルフ大会に 8名参加いただきありがとうございました
- メールボックスにロータリーの友、ガバナー月信、米山記念奨学事業の豆辞典、10/28(日)地区大会の市民公開講演会のチラシが入っております
- 10/27(土)~28(日)地区大会は、ホテルグランヴィア和歌山です
- 例会終了後、理事役員会を開催します

委員会報告

10/8(月) 献血事業の結果報告
献血受付数 48名、採血数合計 39名
事業の際にご協賛いただきました方にお礼申し上げます。ご協力ありがとうございました(山本 博章 社会奉仕委員長)

■ ビジター

なし

■ 出席報告

会員数42名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
10/12	32名	10名	—	76.19%
9/21	38名	4名	1名	92.86%

■ メークアップ

榎本(10/4 ワールド大阪ロータリーEクラブ)

■ ニコニコ箱

- ・山本理事、先日の献血ありがとうございました。皆さんの協力で地区大会記念ゴルフ無事終わりました。藪野さん、急ですが本日の卓話よろしくお願ひします(藤野)
- ・地区のゴルフコンペおつかれ様でした(寺田)
- ・藪野さん、本日卓話お願ひ致します(泉谷)
- ・欠席のお詫び(丹農)
- ・欠席のおわび(藪野)

ニコニコ箱合計	15,000円
累計	330,000円

■ 祝 誕生日

森口 和信 (10月13日)



先週のプログラム

「ご利益(ごりやく)と罰(ばち)」



卓話担当 藪野 信 会員

「神社にお参りしてご利益を授かる」「そんな事したら神様のバチがあたる」。神様に相反する2つの顔があります。人々を見守り、ご加護やご利益を授ける力を「和魂(にぎみたま)」。天変地異を引き起こし、時に人を祟り、「ばち」を与える力を「荒魂(あらみたま)」と云います。地震や雷、洪水などは荒魂のなせる業とされてきました。人々を困らせる自然災害ですが、その後に肥沃な大地をはじめ数多くの恩恵も与えてくれる。そういう荒ぶる力を昔の人は畏怖の念を込めて「荒魂」と呼びました。例祭の地車曳行は、普段は宮座の奥深く静まる御神霊を地車にお遷しして、カチアイで荒々しく揺さぶりながら自分たちの町へお連れするという、荒魂への祈りに他なりません。神前で和魂に祈り、カチアイで荒魂の隆盛を祈る、「陰と陽」の祈りが揃って人々の願ひは神様に届くのです。